

120625 夏至を過ぎて...

先週の木曜日(6/22)は大雨でしたが、二十四節気では「夏至」にあたる日でした。太陽の光が1年で最も長く降りそそぐ日です！
でも、その太陽は一日中顔を現すことがありませんでした...

台風やら大雨やらで、蒸し暑くて煩わしくもなる季節なのですが、草木にとっては恵みの季節なのでしょう、雨露を身にまとってキラキラと輝いているようです。

雨降りの間はどこでどうしているのか分からないチョウチョも、雨があがれば元気に飛び始めるのです！

写真 ・ ウラギンヒョウモン

前翅長4cm弱で、山麓や明るい草原などを好む"ヒョウ柄"のタテハチョウです。
あまり出会う機会がないのも当然、大阪府や奈良県では"準絶滅危惧種"なのです。

写真 : スジグロシロチョウ

以前に を中心に報告しましたが、今回は の接写です！

写真 : 金色?のカエル(幼生)

珍しい体色のカエル(まだオタマジャクシの尾が残っています...)がいました。
アルビノ個体に多い"赤色の目"ではありませんので、体色が突然変異したのでしょうか...
外見からは「シュレーゲルアオガエル」だと思います。

写真 : ウツボグサ

日当たりの良い山野の草地に群生していました。
円筒形の花穂が弓矢を入れる鞆(うつぼ)に似ているところからの命名だそうです。









